

いわてグローバル人材育成推進協議会の取組実績等

(平成 29 年度～令和 2 年度)



令和 3 年 6 月 いわてグローバル人材育成推進協議会

目 次

1 取組実績

(1) 海外留学支援	P 2
ア 人材育成プログラムの内容	P 2
イ 支援実績	P 5
ウ 当該事業の効果的波及に資する取組	P 8
(2) 外国人留学生等の県内定着支援	P 9
ア グローバル人材を対象としたキャリアフェアの開催	P 9
イ グローバル人材と県内企業とのワークショップの開催	P12
ウ グローバル人材を対象とした企業訪問・インターンシップの実施	P14
(3) その他の取組	P17
ア ホームページによる情報発信	P17
イ 各種イベント等での P R	P18

2 組織の体制と運営実績

(1) 組織の概要	P19
(2) 運営実績	P20

3 取組の成果検証と改善内容等

(1) 海外留学支援事業	P23
(2) 外国人留学生等の県内定着支援事業	P24

いわてグローバル人材育成推進協議会の取組実績等 (平成29年度～令和2年度)

情報通信技術や高速交通機関の発達などにより、国境を越えた様々な活動が活発化し、グローバルな人・モノの移動が盛んになっている。

本県においても、東日本大震災津波を契機とした国際交流・協力の進展、いわて花巻空港への国際定期便就航等による外国人客の増加、国際リニアコライダー実現に向けた様々な取組、世界の市場に挑む企業活動の活発化、さらには、多様な活動を目的とし来日した外国人県民等が増加するなど、世界とのつながりは一層重要性を増してきている。

こうした社会情勢の下、本県においても、グローバル社会で活躍する、あるいは、グローバルな視点でローカルに活躍する岩手と世界を結ぶ人材を育成することが急務である。

いわてグローバル人材育成推進協議会は、このような認識の下、岩手が持つ有意な資源を積極的に生かし、グローバルな着眼点から、世界的貢献や地域社会の課題解決、自立した多文化共生社会の実現を担うことのできる人材の育成に向けて、県内の産学官が一体となって実効性のある取組を推進していくための母体として、平成29年2月7日に設立された。

当協議会では、設立当初から以下に示す5つのカテゴリーを掲げ、多様な主体との連携・協力のもと、県内で学ぶ日本人学生のグローバルな視野の拡大と経験の蓄積を図るため、日本と異なる文化・慣習や社会に触れる機会を継続的に提供する事業、あるいは外国人留学生や海外経験を有する日本人学生等の県内定着支援事業などに取り組んできた。



- 〈1〉 岩手と世界の架け橋となり、地域の未来づくりを担うグローバル人材の育成
- 〈2〉 海外からの留学生や日本人学生と県内小中高生との国際教育交流の支援
- 〈3〉 外国人や海外経験のある日本人を活用したグローバルコミュニティの形成と地域情報の発信及び共有の促進
- 〈4〉 外国人や海外経験のある日本人等を活用した地域の活性化及び地域国際化事業の展開支援
- 〈5〉 国際理解、地域国際化、外国語及び日本語教育等の促進及び支援

取組にあたっては、限られた財源及び人的資源を活用した効率的運営の観点から、注力すべき分野（上記カテゴリーに示す〈1〉、〈3〉及び〈4〉）から段階的に取組を進めることとし、また、より効果的な施策展開に向け、当該カテゴリーを「海外留学支援」と「外国人留学生等の県内定着支援」の2本に再整理して進めてきた。

また、〈2〉及び〈5〉については、主に協議会構成機関・団体（岩手県、岩手県国際交流協会、関係高等教育機関等）が主体的に取り組み、当協議会も連携・協力体制を敷いてその取組を展開している。

なお、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響を受け、設立4年目の令和2年度は留学支援事業の中止を余儀なくされたところであるが、令和3年度からは、これまで活用してきた文部科学省の留学支援制度から県独自の枠組みでの運用に切り替えて実施することとしている。

1 取組実績

【1】海外留学支援（カテゴリー〈1〉、〈4〉関連）

設立当初からの当協議会の中心的事業として、県内で学ぶ学生の海外留学と地域企業等でのインターンシップを組み合わせたグローバル人材育成プログラムを展開してきた。

文部科学省「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム（地域人材コース）」（運営：独立行政法人日本学生支援機構。以下「JASSO」という。）を活用し、県内高等教育機関で学ぶ日本人学生を海外研修に派遣するとともに、地域企業等での事前及び事後のインターンシップを組み合わせるもので、地域の活性化に貢献しうるグローバル人材の育成及び活用に向けた取組である。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による渡航制限や留学生の受入中止等を背景として、当該支援事業は止むなく中止としたが、これまでに支援学生は計20名、渡航研修期間は1か月から6か月、渡航研修先はアジア4、北米2、欧州7、オーストラリアと延べ14か国であるほか、事前事後インターンシップは延べ約60社・機関に及び、各学生の自発的発想と入念な企画立案による自己実現、また多くの事業者の理解と支援・協力を得てグローバル人材の育成に取り組んだ。

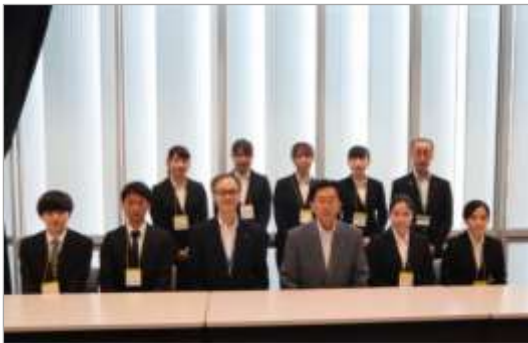
なお、これまでの支援総額は14,732千円（一人平均約737千円）であり、派遣学生総数20名中、令和3年4月時点での県内就職者数は5名（教職含む）、大学等在学中の者は7名（進学含む）である。

ア 人材育成プログラムの内容

（ア）プログラムの構成と流れ

区 分	概 要
①募集／選考	いわて高等教育コンソーシアムの構成教育機関に在籍する、次のような意識を有する日本人学生を対象。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"><ul style="list-style-type: none">i 留学を通じ世界との関わりを深め、岩手における新たな価値の創造や課題の解決に取り組むことを志しているii 岩手県の地域活性化、問題解決に貢献することを希望しているiii 岩手県内の企業等への就職を希望している</div> 関係高等教育機関等の協力のもと、概ね1月からの周知・募集期間を設定、4月募集締め切り後に審査・面接を実施し6月に派遣学生を決定。
②事前オリエンテーション	本事業の趣旨・目的、インターンシップを実施するにあたっての心構え及び基本的な海外安全講座等を座学形式等で行うとともに、参加学生の関心分野に係る岩手の現状、可能性、課題、展望等について知識を深めるために実施。
③事前インターンシップ	留学中の実践活動に必要な知識を習得し、設定課題を深化させるために事前事後のインターンシップを実施。期間は事前・事後のインターンシップでそれぞれ5日以上、合計20日間以上が必須。 事前インターンシップでは、参加学生の関心分野の現場における見学、業務体験、現場関係者へのインタビューなどで岩手の現状を把握し、海外留学・研修の視点を明確化。
④海外研修	県内企業が主に活動する地域、及び今後の展開が期待される地域、また高等教育機関がネットワークを有する地域（中国、香港、台湾、韓国、ベトナム、タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、ラオス、ミャンマー、イン

区 分	概 要
	ド、その他アジア、カナダ、アメリカ、メキシコ、その他北米、フランス、ドイツ、オーストリア、スウェーデン、アイスランド、その他ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド等)。 研修の期間は 28 日以上6か月以内。(令和2年度は3か月以内) なお、研修派遣前には協議会構成機関・企業等を前に壮行会を開催。
⑤ 事後インターンシップ	事後インターンシップでは、海外留学・研修で得た知識・情報をインターンシップ先に成果報告の形で還元するとともに、ローカルとグローバルの融合を目指した課題解決策の検討を現場関係者と実施。
⑥ 事後報告会	当協議会関係者を対象とした報告会を開催(協議会総会に合わせて実施)。口頭発表やポスター発表等を行い、本事業に関わる企業や団体の関係者が質疑を行うもので、ここでのフィードバックにより、さらに提案力を強化しようとするもの。
⑦ ネットワーク構築	参加学生はSNS等を活用して研修状況の可視化を図り、報告会等の場で協賛企業の関係者と世代や立場を越えた情報交流を行う。



《壮行会前の知事との懇談》



《壮行会において留学計画の発表》

(イ) 海外研修のコース設定

下記コースを設定(3コース、5育成プログラム)し、それぞれにおいて、「課題・テーマ」、「事前・事後インターンシップ先」、「海外活動地域」、「海外留学・実践活動先」を地域や企業の実情に応じて提示し、派遣学生がこれらを選択して具体的な計画を設計するものである。

コース	概 要
グローバル産業展開コース	<p>県産品販路開拓人材育成プログラム《コースA》 高品質の米、畜産品、水産加工品等の農水産品、森林資源、鉄器、漆などの伝統工芸品等は、国内の消費が縮小する一方で、世界から注目され始めている。これらの海外販路拡大のためニーズ開拓、ノウハウ導入等を担う人材育成を行う。</p> <p>ものづくり産業海外展開人材育成プログラム《コースB》 岩手県内の特徴的な集積産業や大規模な生産拠点がある製造業(自動車、半導体、金属加工、精密機械、電子部品、情報通信産業など)や、ソフトウェア系のIT産業は今後も地域経済を牽引する産業である。これら産業を中心とし、岩手と世界をつなぎ、海外との取引、海外拠点の責任者となり得るグローバルな視点を有した人材を育成する。</p> <p>交流人口拡大促進人材育成プログラム《コースC》 岩手県は豊かな自然や、世界遺産「平泉」に代表される歴史・文化遺産、祭りや伝統 芸能、食などの多種多様な観光資源を有しながら、外</p>

コース	概要
	国人観光客の誘致は十分でない状況にある。本プログラムでは、外国人観光客のニーズにあった観光商品の開発や情報発信力、企画力等を備えた人材を育成する。さらに、岩手県のサービス産業の海外展開も視野に入れた人材育成を推進する。
グローバル産業創成コース	持続可能型地域づくり産業人材育成プログラム《コースD》 自然災害対応と復興、地域エネルギー、医療・介護等の社会課題をグローバルな視野で捉え、地域産業創成、地域づくりに発展させる力を持つ人材を育成する。
独創テーマコース	多様性地域人材育成プログラム《コースE》 学生独自の視点での地域創生に資する人材育成を行う。

(ウ) 特記事項

① 文部科学省「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム（地域人材コース）」の概要

平成29年度から令和2年度（当該年度は中止）まで当協議会の留学支援事業の実施に当たり、JASSOが運営する上記プログラム制度を活用してきたもの。

(i) 事業目的

地域のグローバル化を促進するため、学生の海外留学や地元でのインターンシップ等を行うことにより、地域の活性化に貢献する人材を育成する。

なお、事業内容については、P2「(ア) プログラムの構成と流れ」のとおり。

(ii) JASSO交付金の補助対象、要件等

地域協議会（当協議会）では、事業費として協賛企業から寄付金を募り、JASSOからの交付金と合わせ、海外留学費用（奨学金）を確保する。

※ 「地域人材コース」は、地域企業・団体からの寄附を「10社200万以上」確保すること、企業等からの拠出が地域拠出額計の3分の2以上であること等のルールあり。

○ 奨学金、往復渡航費及び授業料

地域協議会が派遣留学生に支給する金額の2分の1の金額。上限1,200万円。

○ 事前・事後研修参加費

国内旅費の一部として地域協議会が派遣留学生に支給する全額。

○ 運営経費

地域協議会が支出する運営経費の2分の1の金額（3年を経過後は3分の1）。ただし、奨学金等（運営経費）としてJASSOが交付する金額の10分の1（初年度のみ10分の3）の金額を上限。

(iii) 全国の導入状況等（令和3年1月現在）

【実施地域（21団体）】

北海道、岩手県、山形県、福島県いわき市、栃木県、群馬県太田市、石川県、福井県、静岡県、奈良県奈良市、島根県、岡山県、広島県福山市、徳島県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、沖縄県

【自立（2団体）】※JASSOの交付金終了後自立

新潟県長岡市、三重県

(iv) 本県の状況

平成29年度から令和元年度まで、本プログラム地域人材コースの地域事業交付金の支援を受けて留学支援事業を実施した。

同交付金の支援は原則3年間（当協議会は平成29年度採択から令和元年度まで）とされていたが、令和2年度は令和3年度からの自立に向けた準備期間として位置付けて4年目の特例申請（ただし補助率は3分の1に減少）の承認を受ける方向で調整していたところ、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大等から派遣選考の中止に至ったもの。

② 令和2年度事業の中止措置について

令和2年度においては、前年度までの取組と同様に本プログラム地域人材コースの地域事業交付金を活用し、5名（予定）の支援を実施することとして、1月15日から4月6日にかけて派遣学生の募集を行い、所属大学等を通じて8名の応募があった。

審査を4月半ば以降予定していたが、4月17日、プログラムを管理するJASSOから、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の中、留学計画の円滑な遂行が困難であること、留学先での十分な安全確保が見込めないこと等により、手続きを中止する旨の通知があった。このため、当協議会としても、JASSOの中止趣旨を踏まえ、同プログラムの中止を決定した。

応募学生に対しては、協議会会長（知事）から、引き続き海外への関心を抱きながら学業に励まれることを期待する旨のメッセージを添え、文部科学大臣からの同様の趣旨の手紙と合わせ、大学等を通じて応募者に伝達するとともに、応募書類一式を返却した。

イ 支援実績

(ア) 概況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
応募者数(人)	8	7	9	8	32
支援者数(人)	7	5	8	—	20
支援総額	4,816千円	2,774千円	7,142千円	—	14,732千円
内訳	国交付金	3,064千円	1,664千円	3,997千円	8,725千円
	協議会	1,752千円	1,110千円	3,145千円	6,007千円

(イ) 具体的内容

(i 海外研修テーマ、ii 海外研修期間と研修国、iii 事前事後インターンシップ先、iv 就職先等)

① 平成29年度（支援者7名）《トビタテ！第7期生》

支援者所属	概要
岩手大学 教育学部	<ul style="list-style-type: none"> i カナダの駅舎から受けるインスピレーションを活用した魅力的な「玄関」としての駅舎構築による、列車を利用したいわて観光の浸透《コースC》 ii 1か月／カナダ iii 事前事後) IGR いわて銀河鉄道(株)、(株)サラダファーム iv 民間企業(宮城県)
岩手大学 農学部	<ul style="list-style-type: none"> i 世界へ羽ばたけ！ Japanese SAKE 南部美人《コースA》 ii 2か月／アメリカ iii 事前事後) (株)南部美人、酒米農家、事前のみ) Sake Discoveries, LLC iv 民間企業(神奈川県)
岩手大学 人文社会科学部	<ul style="list-style-type: none"> i 「岩手発」で再生可能エネルギーの浸透を—欧州の先行事例に学ぶ—《コースD》 ii 5か月／ドイツ・スイス

支援者所属	概 要
	iii 事前)岩手県中小企業家同友会 事後)サステナジー(株)岩手営業所 iv 在学中(京都府)
岩手大学 農学部	i ロハス的な理想郷を目指して 地域と考える、豊かなまちづくり 《コースD》 ii 2か月／イギリス、ドイツ、スイス iii 事前事後)岩手県中小企業家同友会 iv 民間企業(岩手県)
岩手大学 人文社会科学部	i 世界の被災地から学ぶ多文化社会《コースD》 ii 1か月／インドネシア iii 事前)岩手県(総合防災室)、遠野まごころネット 事後)遠野まごころネット iv 在学中
岩手県立 大学盛岡 短期大学部	i “被災地いわて”から“観光の街いわて”へ！ 私たちが住みたくなる街は、私たちの手で作る。《コースC》 ii 6か月／台湾 iii 事前)(株)岩手ホテルアンドリゾート 事後)北上観光コンベンション協会 iv 民間企業(宮城県)
一関工業 高等専門学校	i バイオマス分解因子と基質の相互作用観察(等温滴定型熱量測定) 《コースD》 ii 1か月／ノルウェー iii 事前)(公財)岩手県南技術研究センター 事後)県農業研究センター iv 民間企業(岩手県)

② 平成30年度(支援者5名)《トビタテ！第9期生》

支援者所属	概 要
一関工業 高等専門学校	i タイでの多様なコメ食文化を通じて岩手の米の消費拡大を考える ～米麺の可能性・三大麺から四大麺へ～《コースC》 ii 1か月／タイ iii 事前)(公財)岩手県南技術研究センター 事後)県農業研究センター iv 在学中
岩手大学 農学部	i リンゴで橋を。岩手からベトナムへ《コースA》 ii 5か月／ベトナム iii 事前)(株)柳家・白金運輸(株) 事後)(株)柳家 iv 民間企業(東京都)
岩手大学 人文社会科学部	i I DESIGN いわての木製雑貨で起業！《コースA》 ii 3か月／イギリス、フィンランド iii 事前事後)岩泉純木家具(有) iv 民間企業(岩手県)
岩手大学 農学部	i かもめの玉子の力で岩手の魅力を世界へ発信！《コースA》 ii 2か月／台湾 iii 事前事後)さいとう製菓(株) iv 民間企業(宮城県)

岩手医科大学 医学部	<ul style="list-style-type: none"> i ハンガリー ペーチ大学での短期留学《コースE》 ii 1か月／ハンガリー iii 事前事後)岩手県医師会 iv 民間病院(北海道)
---------------	--

③ 令和元年度（支援者8名）《トビタテ！第11期生》

支援者所属	概要
岩手医科大学 医学部	<ul style="list-style-type: none"> i ハンガリー ペーチ大学にて医療を学ぶ《コースD》 ii 1か月／ハンガリー iii 事前事後)県内医療機関 iv 県立病院（岩手県）
一関工業高 等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> i RMIT(Royal Melbourne Institute of Technology) 大学で行う、漫然運転防止のためのウェアラブル型デバイスの開発《コースB》 ii 3か月／オーストラリア iii 事前事後) (公財)岩手県南技術研究センター iv 在学中(宮城県)
岩手大学 人文社会科学部	<ul style="list-style-type: none"> i 大船渡市の活性化を目指す観光のエキスパートへの第1歩プロジェクト《コースC》 ii 2か月／アメリカ iii 事前事後)大船渡市商工港湾観光推進室、JF 綾織漁業協同組合 iv 在学中
岩手大学 教育学部	<ul style="list-style-type: none"> i 児童文学を生かした観光《コースC》 ii 2か月／カナダ iii 事前)花巻市生涯学習部賢治まちづくり課、花巻観光協会 事後)花巻市生涯学習部賢治まちづくり課 iv 在学中
岩手大学 教育学部	<ul style="list-style-type: none"> i 表情豊かな自然で伝えるいわて観光の魅力《コースC》 ii 5か月／カナダ iii 事前事後)盛岡市市民文化部文化国際課、県商工労働観光部観光課、IGRいわて銀河鉄道 iv 民間企業(東京)
岩手大学 理工学部	<ul style="list-style-type: none"> i 自然が豊かな岩手県における、木質バイオマス資源の利用による循環型社会の実現をスウェーデンから学ぶ《コースD》 ii 5か月／スウェーデン iii 事前事後)紫波グリーンエネルギー㈱ iv 在学中
岩手大学 教育学部	<ul style="list-style-type: none"> i 地域に根差したICT教育～児童の未来を支え、教員に負担の少ない社会を創る《コースE》 ii 5か月／オーストラリア iii 事前事後)県内小学校、岩手県立総合教育センター、IGR いわて銀河鉄道他 iv 教職(秋田県)
岩手大学 教育学部	<ul style="list-style-type: none"> i インクルーシブ教育の充実に向けて《コースE》 ii 6か月／オーストラリア iii 事前事後)県内小中学校 iv 教職（岩手県）

ウ 当該事業の効果的波及に資する取組

本支援事業に関連する取組として、派遣学生と同年代の者や次代を担う児童生徒等を対象とした活動報告の機会を捉えて実施、効果的波及に努めている。これは、前述している5つの柱の【2】に該当し、留学経験を有する日本人学生と県内小中高校生等との国際教育交流の取組の一環でもある。

(ア) 大学生等への発信

平成29年11月19日、平成30年12月15日、令和元年11月23日に催された「ふるさと発見！大交流会in Iwate」(主催：県内産学官でつくるふるさといわて創造協議会)において、協議会ブースを出展、海外留学から帰国した学生が自身の留学経験等を来場学生らに伝えるとともに、グローバル視点での自己実現や地域課題への取組を発信した。



(イ) 児童生徒への発信

平成30年6月5日に岩手大学教育学部附属小学校第6学年の総合的な学習の時間「グローバル人材について知ろう！」において、当協議会事務局から海外留学支援について紹介するとともに派遣学生による体験談を報告した。



【2】外国人留学生等の県内定着支援(カテゴリー(3)〈4〉関連)

外国人留学生や海外経験を有する日本人学生等と県内企業とが交流できる場やそのマッチング機会の創出に向け、ワークショップやキャリアフェアの開催、インターンシップや企業訪問等を実施してきた。

なお、これまでの4年にわたって実施してきた事業には、県内在住外国人留学生をはじめとしたグローバル人材延べ309名が参加、県内企業に3名が就職(うち2名は令和3年4月から)している。

ア グローバル人材を対象としたキャリアフェアの開催

(ア) 概要

一般財団法人自治体国際化協会の助成金を活用し、外国人留学生やJETプログラムにより招致した外国人青年(国際交流員、外国語指導助手等)など、外国語のみならずある程度の日本語能力を持ち、日本の文化や社会システムに一定の理解を有するグローバル人材を、本県産業の発展や地域の活性化に寄与する人材として県内での就職・定着を支援することを目的として、「グローバルキャリアフェアin岩手」を開催してきた。

当該キャリアフェアへの参加は、就職マッチングのみならず、日本の就職活動の波に乗り遅れがちな外国人求職者へ活動準備を促す機会ともなっている。

過去4年間で、延べ出展企業83社、外国人青年等149名が参加。当キャリアフェアを通じて、1名が県内企業に就職したほか、在学中の1名がアルバイトを介して令和3年4月に新たに就職した。

(イ) 開催状況

年度 (開催日)	平成29年度 (2月12日)	平成30年度 (11月3日)	令和元年度 (11月30日)	令和2年度 (12月26日)	計
参加企業・団体数	21	18	30	14	83
参加者数	46	49	42	12	149

【各年度の開催概要】

年度	概要
平成29年度	<p>【日時】 平成30年2月12日(月・祝) 10:30~17:00</p> <p>【場所】 ホテルメトロポリタン盛岡本館</p> <p>【協力】 岩手県行政書士会、岩手労働局、(公財)ふるさといわて定住財団、岩手県留学生交流推進協議会、岩手県外国人留学生就職支援協議会</p> <p>【出展数】 21企業・団体</p> <p>【参加者】 13か国46名</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職ガイダンス 外国人の日本での就職状況や就職活動についてのガイダンス 講師:(一財)東北多文化アカデミー代表理事 押谷 祐子 氏 ・ 就職マッチングコーナー 外国人求職者による各出展企業ブースの訪問 ・ 無料行政相談 岩手県行政書士会による、就労や在留資格などについての無料相談 相談件数 19件

年度	概要
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">《企業の出展ブースを訪問する参加者》 《会場の様子》</p>
平成30年度	<p>【日時】 平成30年11月3日(土) 10:30～17:00 【場所】 ホテルメトロポリタン盛岡本館 【協力】 岩手県行政書士会、岩手労働局、(公財)ふるさといわて定住財団、岩手県留学生交流推進協議会、岩手県外国人留学生就職支援協議会 【出展数】 18企業・団体 【参加者】 15か国49名 ※ 県内就業状況:就業1名、アルバイト採用1名</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職ガイダンス 外国人の日本での就職状況や就職活動についてのガイダンス 講師:(株)インターワークス キャリアコンサルタント 川村琢也氏 ・ 就職マッチングコーナー 外国人求職者による出展企業ブースの訪問 ・ 無料行政相談 岩手県行政書士会による、就労や在留資格などについての無料相談 相談件数14件 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">《会場の様子》 《企業の出展ブースを訪問する参加者》</p>
令和元年度	<p>【日時】 令和元年11月30日(土) 10:30～16:00 【場所】 午前 いわて県民情報交流センター(アイーナ) 午後 岩手産業文化センターアピオ 【共催】 (公財)ふるさといわて定住財団 【協力】 岩手県行政書士会 【出展数】 30企業・団体 【参加者】 10か国42名</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職ガイダンス 外国人の日本での就職状況や就職活動についてのガイダンス ゲストスピーカー:和山アマンダマリー(元JET)、サラ フォーサイス(元JET)、三宅芳香(前年度のキャリアフェアでの内定者)

年度	概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人雇用に関する企業向けセミナー 講師:横山 勝 行政書士 参加者数:10社14名 ・ 企業ブース訪問 外国人求職者による出展企業ブースの訪問 ※ いわて就職マッチングフェア((公財)ふるさと定住財団主催)との共催。 ・ 無料行政相談 岩手県行政書士会による、就労や在留資格などについての無料相談 相談件数 2件 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> 《就職ガイダンス》 《企業ブース訪問》 </div>
令和2年度	<p>【日時】 令和2年12月26日(土) 11:00～16:00</p> <p>【場所】 岩手産業文化センターアピオ</p> <p>【共催】 (公財)ふるさといわて定住財団</p> <p>【出展数】 14企業・団体</p> <p>【参加者】 8か国12名</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション(就職ガイダンス) 参加者に対し、グローバル人材育成推進協議会の取り組み、就職活動の進め方、PR動画撮影についての説明を実施。 ・ 企業ブース訪問 外国人求職者による出展企業ブースの訪問 ※ いわて就職マッチングフェア((公財)ふるさと定住財団主催)との共催。 ・ PR動画撮影 参加者のうち希望者は協議会会員企業向けのPR動画を撮影。 (協議会ホームページに掲載中) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> 《オリエンテーション》 《企業の出展ブース訪問》 </div>

イ グローバル人材と県内企業とのワークショップの開催

(ア) 概要



留学支援事業による派遣学生をはじめとする海外に関心の高い日本人学生並びに県内外国人留学生、JETプログラム参加者、在住外国人などのグローバル人材と県内企業との「つながり」の場を創出し、グローバル人材と県内企業等との相互の理解を深めるためのワークショップを開催した。

(イ) 開催状況

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
実施回数	-	1	1	2	4
参加者数(※)	-	7	11	28	46
参加企業・団体数	-	5	3	30	38

※外国人留学生等グローバル人材のみ計上

【各年度の開催概要】

年度	概要
平成29年度	実績なし
平成30年度	<p>i 「岩手の魅力発見！いわての地域産業をグローバルな視点で考えよう」の実施</p> <p>【日時】 平成30年7月14日(土) 13:00～17:00</p> <p>【場所】 いわて県民情報交流センター(アイーナ)703会議室</p> <p>【参加者】 7名</p> <p>【参加企業・団体数】 5団体</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県産業の海外展開について 岩手県商工労働観光部産業経済交流課 ・ 本県の国際化の現状・取組 (公財)岩手県国際交流協会 ・ 企業の取組について 株式会社 ミクニ 人事室盛岡総務グループ 佐々木 朗典 氏 岩手県北自動車株式会社 総務部人事担当 安保 道子 氏 株式会社 岩手県北観光 営業企画部兼インバウンド推進室 階 ケイティ氏 ・ 参加企業との意見交換(ワークショップ) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>《ワークショップの様子》</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>《グループでの発表》</p> </div> </div>
令和元年度	<p>i 「世界で活躍！岩手の企業から学ぶグローバルワークショップ」の実施</p> <p>【日時】 令和元年7月7日(日) 13:15～16:30</p> <p>【場所】 いわて県民情報交流センター(アイーナ)702会議室</p> <p>【参加者】 11名</p> <p>【参加企業・団体数】 3団体</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県産業の海外展開について 日本貿易振興機構(ジェトロ)盛岡貿易情報センター 所長 城北 賀章 氏

年度	概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の外国人の状況 (公財)岩手県国際交流協会 ・ 本県企業の取り組み (株)柳家 代表取締役社長 大信田 和彦 氏 ・ ワークショップ ファシリテーター ラーニング・サポート・しわ 岩泉 康喜 氏 アドバイザー 大信田 和彦 氏、城北 賀章 氏 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">《柳家 大信田社長のお話》 《ワークショップの様子》</p>
令和2年度	<p>i 「外国人材活躍推進シンポジウム」の実施 (ふるさといわて定住財団、ジェトロ仙台、ジェトロ盛岡との共同主催) 【日時】 令和2年10月20日(火) 13:30~16:30 【場所】 いわて県民情報交流センター(アイーナ) 小田島組☆ほ〜る 【参加者】 43名(うち留学生等8名) 参加企業・団体数 29団体 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「外国人材活躍推進に係る伴走型支援について」 ジェトロ仙台 高度外国人材活躍推進コーディネーター 黒澤 瞬 氏 ・ グローカル人材育成推進協議会の取組紹介 事務局 ・ 岩手で学ぶ外国人留学生等による自己紹介プレゼンテーション 発表者: 留学生5名 ・ パネルディスカッション ファシリテーター: 黒澤 瞬 氏 ゲストスピーカー: プレゼンテーション発表者5名 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">《パネルディスカッション》 《留学生の自己紹介プレゼンテーション》</p> <p>ii 「いわてで働こう！外国人のための就活ワークショップ」の実施 【日時】 令和2年12月13日(日) 13:00~17:00 【場所】 いわて県民情報交流センター(アイーナ)501会議室 【参加者】 31名(うち留学生等20名) 参加企業・団体数 1団体 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業側からみた高度外国人材の魅力 スズキハイテック(株) 代表取締役社長 鈴木 一徳 氏 ・ 私の体験談 スズキハイテック(株) 開発グループ主事 ペトルス ヤサヤ サモリ 氏 ・ ワークショップ テーマ「いわてで働こう！」

年度	概 要	
		
	《スズキハイテック㈱ 鈴木社長》	《ワークショップの様子》

ウ グローバル人材を対象とした企業訪問・インターンシップの実施

(ア) 概要

JETプログラム参加者（国際交流員、外国語指導助手等）や留学生など、ある程度の日本語能力を持ち、日本の文化や社会システムに一定の理解を有する外国人等のグローバル人材を、本県産業の発展や地域の活性化に寄与する人材として岩手県内での就職・定着を支援するため、県内企業でのインターンシップや、県内企業の訪問を実施した。

(イ) 開催状況

① 企業訪問



年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
実施回数	-	2	1	2	5
訪問企業数	-	3	2	2	7
参加者数(※)	-	52	31	18	101

※外国人留学生等グローバル人材のみ計上

② インターンシップ


年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
受入企業数	-	3	1	4	8
参加者数	-	5	2	6	13

【各年度の開催概要】

年度	概 要
平成29年度	実績なし
平成30年度	<p>① 企業訪問(岩手大学との共催)</p> <p>i 第1回企業訪問</p> <p>【日時】平成30年11月28日(水)</p> <p>【参加者数】39名(留学生34名、岩手大学職員3名、事務局2名)</p> <p>【訪問先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩泉乳業㈱ 工場見学及び山下欽也代表取締役社長による講義 ・ 浄土ヶ浜散策 参加留学生は外国人観光客の目線で、店内表示や料理の味について意見を述べ、その意見を浄土ヶ浜レストハウスへ提供。
	 
	<p>《岩泉乳業訪問》</p> <p>《説明を受ける様子》</p>

年度	概要																														
	<p>ii 第2回企業訪問</p> <p>【実施日】平成31年2月18日(月)</p> <p>【参加者数】22名(留学生18名、岩手大学教員1名、事務局2名)</p> <p>【訪問先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みちのくコココーラボトリング(株)花巻工場 ・リコーインダストリアルソリューションズ(株) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="517 474 898 757">  </div> <div data-bbox="935 474 1316 757">  </div> </div> <p style="text-align: center;">《みちのくコココーラボトリング(株)訪問》 《リコーインダストリアルソリューションズ(株)訪問》</p> <p>② インターンシップ</p> <p>【申込者】5名(うち3名実施)</p> <p>【受入企業数】3社 【マッチング件数】5件 (内訳)</p> <table border="1" data-bbox="475 987 1361 1189"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>身分</th> <th>国籍</th> <th>住所</th> <th>インターシップ先・実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>JET参加者</td> <td>ニュージーランド</td> <td>宮城県仙台市</td> <td>岩手銀行(株) 2018. 12. 27</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>JET参加者</td> <td>カナダ</td> <td>秋田県秋田市</td> <td>岩手銀行(株) 2018. 12. 26</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>留学生</td> <td>中国</td> <td>盛岡市</td> <td>(株)ミックニ 2018. 12. 25</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>岩手銀行(株) 2018. 12. 27</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>岩手県北自動車(株) 2018. 2. 12</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他2名から申込みがあったが、条件が合わずマッチングは成立しなかったもの。</p> <p>※ その他関連事業</p> <p>i 『外国人の雇用を考える企業向けセミナー』</p> <p>【日時】平成30年9月18日(火) 13:30～15:30</p> <p>【場所】アイーナ501会議室</p> <p>【参加者数】30名</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の雇用に向けての留意点等について 岩手県行政書士会 中澤 弘文 氏 ・外国人を雇用している企業からの事例紹介 (経営者)株式会社長栄館、株式会社いわてラボ 代表取締役社長 照井 貴博 氏 (被雇用外国人)エチエバン セバスチャン 氏 ・インターンシップ事業の紹介、企業募集案内 <p>ii 参加者を対象としたビジネスマナー等に関する研修会</p> <p>【日時】平成30年12月1日(土) 13:30～15:00</p> <p>【場所】アイーナ703研修室 参加者数 4名</p> <p>【講師】ジョブカフェいわて キャリアカウンセラー 川村 恵 氏</p>	No.	身分	国籍	住所	インターシップ先・実施日	1	JET参加者	ニュージーランド	宮城県仙台市	岩手銀行(株) 2018. 12. 27	2	JET参加者	カナダ	秋田県秋田市	岩手銀行(株) 2018. 12. 26	3	留学生	中国	盛岡市	(株)ミックニ 2018. 12. 25	4	〃	〃	〃	岩手銀行(株) 2018. 12. 27	5	〃	〃	〃	岩手県北自動車(株) 2018. 2. 12
No.	身分	国籍	住所	インターシップ先・実施日																											
1	JET参加者	ニュージーランド	宮城県仙台市	岩手銀行(株) 2018. 12. 27																											
2	JET参加者	カナダ	秋田県秋田市	岩手銀行(株) 2018. 12. 26																											
3	留学生	中国	盛岡市	(株)ミックニ 2018. 12. 25																											
4	〃	〃	〃	岩手銀行(株) 2018. 12. 27																											
5	〃	〃	〃	岩手県北自動車(株) 2018. 2. 12																											

年度	概要															
令和元年度	<p>① 企業訪問（岩手大学との共催） 【日時】 令和元年11月20日（水） 【参加者数】 34名 （JET参加者2名、留学生29名、岩手大学教員1名、事務局2名） 【訪問先】 ・ 岩手県空港ターミナルビル(株) ・ 和同産業(株)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="477 517 900 831">  </div> <div data-bbox="924 517 1347 831">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <p data-bbox="539 853 855 880">《岩手県空港ターミナルビル(株)訪問》</p> <p data-bbox="1038 853 1206 880">《和同産業(株)訪問》</p> </div> <p>② インターンシップ 【申込者】 2名 【受入企業】 1社(申出企業2社のうちマッチング1社) 【マッチング件数】 2件 (内訳)</p> <table border="1" data-bbox="477 1115 1359 1240"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>身分</th> <th>国籍</th> <th>住所</th> <th>インターシップ先・実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>留学生</td> <td>中国</td> <td>盛岡市</td> <td>岩手銀行(株) 2019. 12. 27</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>留学生</td> <td>中国</td> <td>盛岡市</td> <td>岩手銀行(株) 2019. 12. 27</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他関連事業</p> <p>i 『外国人の雇用を考える企業向けセミナー』 【日時】 令和元年9月19日（木）13:30～15:30 【場所】 アイーナ501会議室 【参加者数】 32名 【内容】 ・外国人労働者の雇用管理について 岩手労働局職業対策課地方障害者雇用担当官 小野寺 豊 氏 ・外国人を雇用している企業からの事例紹介 （経営者）株式会社サイバーコア 取締役副社長 阿部 正志 氏 （被雇用外国人）グイン クオック チン 氏 ・インターンシップ事業の紹介、企業募集案内</p> <p>ii 参加者を対象としたビジネスマナー等に関する研修会 【日時】 令和元年12月1日（日）13:30～15:00 【場所】 アイーナ602会議室 【参加者数】 2名 【講師】 ジョブカフェいわて キャリアカウンセラー 川村 恵 氏</p>	No.	身分	国籍	住所	インターシップ先・実施日	1	留学生	中国	盛岡市	岩手銀行(株) 2019. 12. 27	2	留学生	中国	盛岡市	岩手銀行(株) 2019. 12. 27
No.	身分	国籍	住所	インターシップ先・実施日												
1	留学生	中国	盛岡市	岩手銀行(株) 2019. 12. 27												
2	留学生	中国	盛岡市	岩手銀行(株) 2019. 12. 27												

年度	概要																																			
令和2年度	<p>① 企業訪問(岩手大学との共催)</p> <p>i 第1回企業訪問 【実施日】 令和3年2月17日(水) 【参加者数】 14名(留学生9名、岩手大学職員2名、事務局等3名) 【訪問先】 アイシン東北株式会社</p>  <p>《アイシン東北(株)訪問》</p> <p>ii 第2回企業訪問 【実施日】 令和3年2月19日(金) 【参加者数】 14名 (JET参加者2名、留学生7名、岩手大学職員2名、事務局等3名) 【訪問先】 盛岡セイコー工業株式会社</p> <p>② インターンシップ 【申込者】 6名 【受入企業】 4社(申出企業6社 うちマッチング4社) 【マッチング件数】 6件 (内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>身分</th> <th>国籍</th> <th>住所</th> <th>インターシップ先及び実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>JET参加者</td> <td>アメリカ</td> <td>大船渡市</td> <td>IGRいわて銀河鉄道(株) 2020.1.25～29</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>留学生</td> <td>中国</td> <td>盛岡市</td> <td>(株)アークネット 2021.1.20, 27, 2.3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>留学生</td> <td>ベトナム</td> <td>盛岡市</td> <td>(株)夢実耕望 2020.12.28～29</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>大学生</td> <td>日本</td> <td>盛岡市</td> <td>(株)夢実耕望 2020.12.28～29</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>留学生</td> <td>ベトナム</td> <td>盛岡市</td> <td>(株)アークネット 2021.3.15～3.19,31,4.19</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>留学生</td> <td>中国</td> <td>盛岡市</td> <td>岩手県国際交流協会 2021.2.2～3.23</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他2社から受入の申し出があったが、条件が合わずマッチングが成立しなかったもの。</p>	No.	身分	国籍	住所	インターシップ先及び実施日	1	JET参加者	アメリカ	大船渡市	IGRいわて銀河鉄道(株) 2020.1.25～29	2	留学生	中国	盛岡市	(株)アークネット 2021.1.20, 27, 2.3	3	留学生	ベトナム	盛岡市	(株)夢実耕望 2020.12.28～29	4	大学生	日本	盛岡市	(株)夢実耕望 2020.12.28～29	5	留学生	ベトナム	盛岡市	(株)アークネット 2021.3.15～3.19,31,4.19	6	留学生	中国	盛岡市	岩手県国際交流協会 2021.2.2～3.23
No.	身分	国籍	住所	インターシップ先及び実施日																																
1	JET参加者	アメリカ	大船渡市	IGRいわて銀河鉄道(株) 2020.1.25～29																																
2	留学生	中国	盛岡市	(株)アークネット 2021.1.20, 27, 2.3																																
3	留学生	ベトナム	盛岡市	(株)夢実耕望 2020.12.28～29																																
4	大学生	日本	盛岡市	(株)夢実耕望 2020.12.28～29																																
5	留学生	ベトナム	盛岡市	(株)アークネット 2021.3.15～3.19,31,4.19																																
6	留学生	中国	盛岡市	岩手県国際交流協会 2021.2.2～3.23																																

【3】その他の取組

当協議会の創設以来、主に通年で取り組んできた事項は次のとおり。

ア ホームページによる情報発信

当協議会が運営するホームページを活用し、会員企業の情報や海外派遣学生の留学レポート等を随時公開し、県内外にその取組を発信してきた。

協議会の概要や協議会会員の情報のほか、海外留学支援、グローバルキャリア、インターンシップ、企業との交流等の取り組みを発信するとともに、事業の対象者によっては英語での案内を加えた告知を行ってきた。

海外派遣事業については、派遣学生からの留学レポートを報告してもらい、留学中の様子を随時ホームページに掲載した。

また、令和2年度は、県内での就職を希望する在住外国人のPRメッセージを伝える動画を掲載するページを作成し、県内定着を目指す外国人留学生等と会員企業等とのマッチングに向けて情報発信を開始した。(外国人求職者PR動画掲載件数：10件)



《協会ホームページ(トップページ)》



《外国人求職者 PR 動画掲載ページ》

イ 各種イベント等でのPR

県内の大学等で開催される各種イベントに参加・出展し、海外派遣学生の成果報告や当協会が取り組んできた各種事業のPR等を実施してきた。

(ア) イベント等でのPR

前述のとおり、「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」において海外派遣学生がその活動を紹介しながら、「トビタテ！留学 JAPAN 地域人材コース」を活用した海外留学のPRをしたほか、派遣学生の在籍学校で実施した成果報告会や成果報告のプレゼンテーションの動画等について、協会のホームページにおいても紹介をした。

(イ) 海外派遣学生の成果報告書の作成

海外派遣学生の成果報告書を作成し、会員企業・団体、関係機関等に配布するとともに、ホームページに掲載した。



《令和元年度活動報告書》

2 組織の体制と運営実績

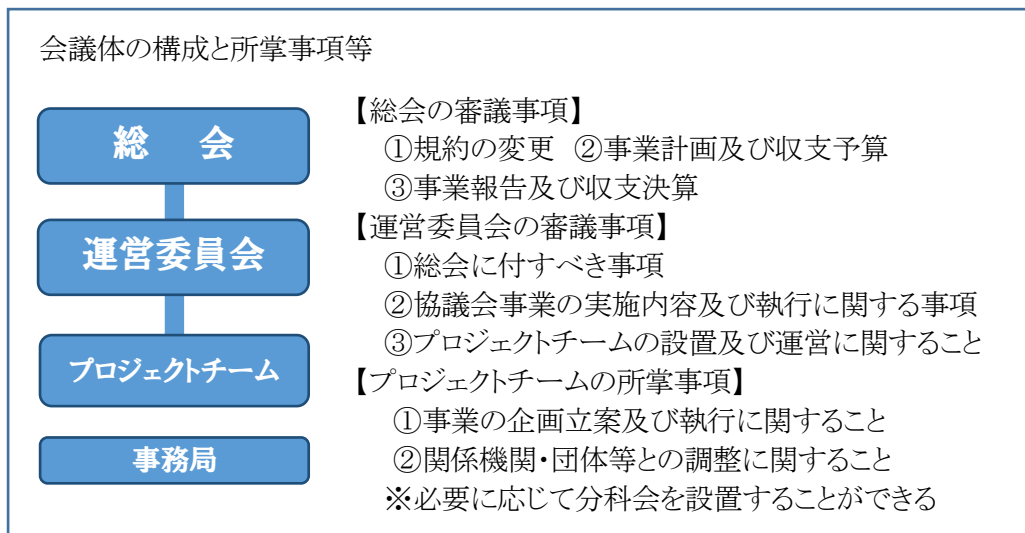
(1) 組織の概要

ア 設立目的

岩手の豊富な資源を積極的に生かし、世界に発信するグローバルな視点を持ち、自立した多文化共生社会の実現を担うことのできる地域人材の育成に向けて、県内の産学官が一体となって実効性のある取組を推進し、オール岩手でグローバル人材の育成及び活用を行うことを目的とし、平成29年2月7日に設立。

イ 組織構成

会長（1名）	岩手県知事
副会長（3名）	岩手大学学長（いわて高等教育コンソーシアム代表）、 岩手県国際交流協会理事長、岩手県商工会議所連合会会長
監事（2名）	岩手県商工会連合会専務理事、岩手日報社取締役
会員	88企業・団体（令和3年4月1日現在）
事務局	岩手県ふるさと振興部国際室 (業務の一部を岩手県国際交流協会に委託)



ウ 取組事業

協議会規約第3条に定める協議会事業は以下のとおり。発足から4年間、海外留学支援事業や外国人留学生等の定着支援事業を中心に継続的に取り組んできた。

【協議会事業】

取組1	岩手県と世界の架け橋となり、地域の未来づくりを担うグローバル人材の育成
取組2	海外からの留学生及び日本人学生と小中高生との国際教育交流支援
取組3	外国人や海外経験のある日本人を活用したグローバルコミュニティの形成と情報発信・共有
取組4	地域の活性化及び地域の国際化事業の展開支援
取組5	国際理解、地域国際化、外国語及び日本語教育等の促進及び支援
取組6	構成組織間の情報共有、広報、普及活動、調査研究、各種交流

※【取組2】及び【取組5】については、主に協議会構成期間・団体(岩手県、岩手県国際交流協会、関係高等教育機関等)が主体的に取り組む施策を中心として担い、当協議会は連携・協力体制を敷いて取組を展開。

(2) 運営実績

ア 総会等開催状況

年 度	概 要
平成 28 年度	<p>【設立総会】 (平成29年2月7日・アイーナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会規約の制定 ・ 平成28年度・平成29年度事業計画及び収支予算 <p>※設立総会に併せて、文部科学省「官民協働海外留学支援事業～トビタテ留学JAPAN～地域人材コース」事業採択書の授与が行なわれた。</p>
平成 29 年度	<p>【運営委員会】</p> <p>第1回(平成29年5月12日・アイーナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度留学支援事業に係る学生選考等 <p>第2回(平成29年10月23日・アイーナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度事業の実施状況 ・ 平成30年度における協議会事業(平成30年度派遣学生募集等) <p>【グローバル人材育成プロジェクトチーム】</p> <p>第1回(平成29年8月24日・岩手大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度における留学支援事業等 <p>第2回(平成29年12月21日・岩手大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度事業の実施状況 ・ 平成30年度における協議会事業(平成30年度派遣学生募集要項等) <p>第3回(平成30年3月16日・アイーナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル人材の活用促進事業検討(キャリアフェアの開催等)
平成 30 年度	<p>【総会】</p> <p>総会及び第7期生成果報告会(平成30年5月24日・アイーナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度事業報告及び収支決算 ・ 平成30年度事業計画及び収支予算 ・ 第7期生成果報告会(前年度派遣学生、7名) <p>【運営委員会】</p> <p>第1回(平成30年4月11日・アイーナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度総会に係る議題、留学支援事業に係る学生選考等 <p>第2回(平成30年12月26日・アイーナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度事業の実施状況 ・ 平成31年度における協議会事業(平成31年度派遣学生募集等) <p>【グローバル人材育成プロジェクトチーム】</p> <p>第1回(平成30年8月1日・岩手大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度以降の留学支援事業等のあり方 <p>第2回(平成30年12月20日・岩手大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度事業の実施状況 ・ 平成31年度における協議会事業(平成31年度派遣学生募集要項等)
令和元年度	<p>【総会】</p> <p>総会及び第9期生成果報告会(令和元年5月29日・アイーナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度事業報告及び収支決算 ・ 令和元年度事業計画及び収支予算 ・ 第9期生成果報告会(前年度派遣学生、5名) <p>【運営委員会】</p> <p>第1回(平成31年4月12日・アイーナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度総会に係る議題、留学支援事業に係る学生選考等

年 度	概 要
	第2回(令和元年8月22日・エスポワールいわて) ・ 令和3年度以降の留学支援事業等のあり方 第3回(令和元年12月20日・アイーナ) ・ 令和元年度事業の実施状況 ・ 令和2年度における協議会事業の方向性(令和2年度派遣学生募集等) 【グローバル人材育成プロジェクトチーム】 第1回(令和元年7月19日・岩手大学) ・ 令和3年度以降の留学支援事業等のあり方 第2回(令和元年12月11日・岩手大学) ・ 令和元年度事業の実施状況 ・ 令和2年度における協議会事業(令和2年度派遣学生募集要項等)
令和2年度	【総会】 書面開催(令和2年5月25日送付、6月12日表決) ・ 令和元年度事業報告及び収支決算 ・ 令和2年度事業計画及び収支予算 ・ 監事の選任 ※従前から併せて開催している前年度派遣学生の成果報告会は見送り。 (会員に令和元年度(第11期)派遣学生(8名)成果報告書を配布) 【運営委員会】 第1回(令和2年4月13日・アイーナ) ・ 令和2年度総会に係る議題、令和2年度留学支援事業に係る学生選考 第2回(令和2年8月27日・エスポワールいわて) ・ 令和3年度以降の留学支援事業等のあり方 第3回(令和3年1月13日・アイーナ) ・ 令和2年度事業の実施状況 ・ 令和3年度における協議会事業の方向性 【グローバル人材育成プロジェクトチーム】 第1回(令和2年7月31日・岩手大学) ・ 令和3年度以降の留学支援事業等のあり方 第2回(令和2年12月23日・岩手大学) ・ 令和2年度事業の実施状況 ・ 令和3年度における協議会事業

イ 収支の状況

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入額	11,319千円 うち寄附金等5,190千円 うち助成金等3,550千円	11,007千円 うち寄附金等2,740千円 うち助成金等1,664千円	13,371千円 うち寄附金等2,610千円 うち助成金等3,997千円	7,555千円 うち寄附金等2,298千円 うち助成金等 0円
支出額	7,926千円 うち事業費5,233千円	7,354千円 うち事業費4,286千円	11,077千円 うち事業費8,084千円	3,893千円 うち事業費 879千円
繰越額	3,393千円	3,654千円	2,293千円	3,661千円

- ・ 令和2年度はJASSOからの助成金はなし。(新型コロナウイルス感染症の拡大等により海外派遣が中止となり、前年度派遣者の事後研修もリモート開催となったため。)
- ・ 平成29年度の助成金3,550千円には、グローバルキャリアフェアに係る一般財団法人自治体国際化協会からの助成金486千円を含む。(平成30年度以降は県からの事務局委託費に包含。)

ウ 会員の状況

(各年度末)

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度	計
会員数	83	88	88	88	—
うち寄附会員	49	34	29	26	—
寄付額	5,190 千円	2,740 千円	2,610 千円	2,298 千円	12,838 千円

※ 88団体となった後、2団体が新たに加入し、2団体が退会している。

- ・ 発足後の初年度となった平成29年度に、3年分の会費を前納した会員もあること。
(H29単年度5,190千円、H29～R元合計10,540千円 (3か年平均3,513千円))
- ・ 令和2年度における寄附金については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う厳しい経済状況の中にも関わらず、会員・団体の御協力により2,298千円(前年比88.0%)を確保できたこと。

エ 交付金、助成金の状況

① 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の交付金

「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム(地域人材コース)」地域事業交付金を活用し、留学支援事業を実施。(平成29年度～令和元年度)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合 計
奨学金等	2,137千円	1,229千円	3,374千円	—	6,740千円
事前・事後研修参加費	286千円	312千円	286千円	—	884千円
事務局運営経費	641千円	123千円	337千円	—	1,101千円
交付金計	3,064千円	1,664千円	3,997千円	—	8,725千円

② 一般財団法人自治体国際化協会の助成金

「地域における『語学指導等を行う外国青年招致事業(The Japan Exchange and Teaching Programme)参加者のキャリア支援事業』の助成金を活用し、県内留学生やJETプログラム参加者などのグローバル人材を県内での就職・定着を支援するため、グローバルキャリアフェア(平成29年度～令和2年度)及びインターンシップ事業(平成30年度～令和2年度)を実施。

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合 計
グローバルキャリアフェア助成金	486千円	472千円	367千円	174千円	1,499千円
インターンシップ助成金	—	91千円	120千円	363千円	574千円
助成金計	486千円	563千円	487千円	537千円	2,073千円

3 取組の成果検証と改善内容等

(1) 海外留学支援事業

ア 活動成果等

国の支援制度「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム（地域人材コース）」地域事業交付金を活用し、平成29年度から令和元年度までの3年間で20名の留学支援を行い、グローバル人材の育成に取り組んだ。

令和3年4月現在、5名の県内就職にも結びつき（教職1名含む）、7名の学生については引き続き在学し、海外研修で得た経験を生かし学業や研究を続けている。在学中の学生の中にも教員志望もあり、直接企業への就職とは異なる形で、教育を通じてその知見を活かしていくことも期待される。

イ 主な課題及び改善点・対応の方向性

① 広報・周知面

県内学生からの応募件数は多くなく（P5参照）、当協議会の留学支援事業への認知度が十分でないことが主な理由と考えられる。

このため、大学等で開催するイベント等に協議会として参加・出展し、派遣学生が成果報告をするなどのPRを行ったほか、平成31年度（令和元年度）募集に当たっては独自のポスター等を作成し周知に取組み、新規の教育機関からの参加につながった。

財源に鑑み、支援可能人数は限られているものの、より多くの学生がグローバルな視野を持ち挑戦する機会を提供するため、引き続き高等教育機関等と連携し、幅広い周知に努めていく。

② 企業・学生とのつながり

就職先が会員企業以外であることや、留学前後のインターンシップを会員企業に限定していないなど、会員企業にとって寄付をするメリットが感じられないという意見が出されている。一方、応募学生や高等教育機関側からは、学生の留学テーマと合致する業種が少ない、企業について情報を得る機会が少ないという意見が聞かれるところ。

このため、留学前の事前オリエンテーションにおける本県産業の海外展開の概況についての講義や会員企業の取組紹介、壮行会における派遣学生によるポスターセッションなどを実施し、企業と学生の交流の機会づくりに努めてきた。

今後は、会員企業のニーズ等の聞き取りに努めるとともに、学生の留学計画策定の過程やインターンシップにおいて、地元企業（特に会員企業）との関わりを増やし、学生・企業双方がよりメリットを感じられる仕組みづくりに取り組んでいく。

③ 留学支援事業の継続

当初から、文部科学省「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム（地域人材コース）」は原則3年間までとされていたところであるが、高等教育機関から、当該支援制度終了後においても県独自の留学支援制度による継続の要望が出ていたほか、会員からも県独自の制度創設による人材育成の理念・必要性について賛同する声が寄せられていた。

このため、令和3年度から県独自の留学支援制度として学生の留学支援を継続する方向で運営協議会等の了承を得、さらに新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえ、冬季や春休み期間の留学機会を提供できるよう、例年のスケジュールを後ろ倒しで募集を行う方向で準備している。

なお、県内88企業等（令和3年3月現在）が会員になっているが、寄付金額は減少傾向にあるほか、新型コロナウイルス感染症の拡大が経済活動にも大きな影響を与えている。一方、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の厳しい状況下においても多くの会員からの寄付が寄せられたところであり、かかる善意を汲むためにも、令和3

年度からの独自制度開始も契機に、より会員のメリットを高めるような取組を継続的に研究していく。

また、財政状況等も踏まえ、必要に応じて支援制度の見直しをしながら、中長期的な支援継続に努めていく。

(2) 外国人留学生等の県内定着支援事業

ア 活動成果等

一般財団法人自治体国際化協会の助成金を活用し、留学生やJETプログラム参加者等の外国人材と地元企業とのマッチングを図るキャリアフェア(平成29年度から)やインターンシップ事業(平成30年度から)など、ある程度の日本語能力を持ち、日本の文化や社会システムに一定の理解を有する外国人材の定着支援に取り組んだ。

これまで4年にわたって実施してきた事業には、県内在住外国人留学生をはじめとしたグローバル人材延べ309名が参加し、3名の県内企業等への就職に結びついた。

イ 主な課題及び改善点・対応の方向性

平成29年度から開催しているキャリアフェアについては、参加者(企業、外国人)アンケートからは、参加満足度は比較的高いことが伺えるものの、フェア単体で具体的なマッチングに至るケースは少ないのが実状である。アンケートからは、双方のニーズのミスマッチが理由のひとつとして伺えるほか、留学生が卒業後日本に残る場合でも好待遇を求めて県外へ就職する傾向との情報もある。

また、県内学生(日本人学生、留学生ともに)が県内企業の情報を得る機会が少ないほか、留学生については、自身の日本における高度人材としての可能性について理解が深まらず、日本での就職活動のノウハウも不足している。一方、企業側においても、高度人材の活用への理解や期待の高さは様々となっている。

このようなことから、これまで、キャリアフェア開催にあたり、日本における就職の基本について学ぶガイダンスの実施や在留資格の相談コーナーの設置等を行ってきた。また、より多くの企業の参加につなげるため、令和元年度からは公益財団法人ふるさといわて定住財団との協力の下、同財団の大規模な就職フェアと合同で開催するなどしてきた。

加えて、相互のつながりの場を創出するため、令和2年度は新たに、外国人材採用に係るJETROの講義、留学生によるプレゼンテーションやパネルディスカッションなどを行うシンポジウムのほか、地元大学の留学生等を積極採用している県外の企業経営者と若手外国人社員の体験談を学ぶ就活ワークショップを企画・実施したところ。

今後は、このような取組の継続に加え、教育機関や企業等との連携を強化し、例えば(日本人学生も含めた)グローバル人材を対象に通年でインターンシップのコーディネート、留学生の滞在周期(入学・卒業時期等)も考慮した効果的なタイミングでの行事の企画や参加の働きかけ、企業の自社紹介と学生側のプレゼンテーションなどの相互理解・交流を促進する場の創出等を研究していく。

(3) 組織運営

ア 運営状況等

事務局を県が担い、留学支援事業や定着支援事業等の業務の一部を岩手県国際交流協会に委託(委託費は県費にて措置)し、運営を行ってきた。

総会を年1回、運営協議会を年に3回程度開催し、事業計画や予算等の審議を行ったほか、高等教育機関等によるグローバル人材育成プロジェクトチームのミーティングの場で、主に留学支援事業の効果的な執行についての意見交換等を行った。

なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、総会は書面開催としたほか、運営委員会等の会議は、出席者間の間隔を確保、マスク着用等の感染対策をした上で開催した。

また、毎年、会員企業等に対し会費納入を依頼し、行事等の機会に合わせ新規会員の勧誘に取り組んだ。当協議会設立時の会員は66者でスタートし、平成30年度に88者となって以降は横ばいとなっている（平成30年度以降、2者が退会、2者が新たに加入）。

イ 主な課題及び改善点・対応の方向性

当協議会の取組の主目的が、地域の未来づくりを担うグローバル人材であることに鑑み、県や関係団体、企業のほか、県内市町村を含めて軌を一にして取り組んでいくことが望ましいが、一部の市町村の参画に留まっている。県全体で地域人材の育成に貢献する取組を促すため、今後、より多くの市町村から当協議会の趣旨に賛同を得、協議会規約第5条に基づく第2号会員となるよう働きかけをしていく。

また、プロジェクトチームとして、高等教育機関等によるグローバル人材育成プロジェクトチームが存在するが、留学支援事業や定着支援事業のより効果的な企画・実施についてより積極的な連携が図られるよう、活性化を図っていく。

このほか、様々な機会をとらえて企業等に当協議会の趣旨説明をし、協力企業や会員の拡大を図っていく。また、会員企業等をグローバル人材育成に貢献している団体として認定するなど、会員のイメージアップや協議会活動の普及促進につなげるべきとの提案を受け、今後、認定制度の導入を進めていく。

【参考】運営委員会の場などで寄せられた主な意見等

項目	課題等 (運営委員会等で寄せられた主な意見)	今後の方向性 (詳細は上述のとおり)
留学制度 全般	<ul style="list-style-type: none"> ※留学の期間については、会員のほか、送り出す高等教育機関側からも様々な声が寄せられたところ。 ・留学期間の上限を1年としては。 ・短期間の留学であれば、人材育成ではなく経験を積むレベルに留まってしまう。 ・学業のため、28日以上要件をクリアするのが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度からの県独自制度では、28日以上3か月以内を基本に運営していく予定。 ・ただし、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、令和3年度は、夏休み以外の冬・春休み期間の留学機会を作るため、特例的に2週間の短期留学を認める方向。
応募者数	<ul style="list-style-type: none"> ・応募が多くなるような取組を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、派遣学生の成果報告などイベント等での周知のほか、高等教育機関等と連携し、幅広い周知に努める。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・県内学生のみではなく、他県の学生に岩手に戻ってもらい定住させるような発想があってもよい。 ・トビタテ！留学 JAPAN の全国版の目的、産業界を担うリーダー人材育成をそのまま地方版に持ってきているので、学生には敷居が高いのでは。リーダー育成の一手手前に挑戦する学生を考えていてもよいのではないか。 ・学生に限らず支援してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況等も踏まえ、当面は、引き続きいわて高等教育コンソーシアム会員の大学等に在籍する学生を対象とする。 ・意欲ある学生がチャレンジしやすい制度とする。
企業メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に直結するなど、具体的なメリットがないと寄付金を出しづらい。 ・学生自らは企業との接点を維持しようとしなため、留学後つながりが切れる。協議会が、学生と企業を将来的につないでいく形を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業のニーズ等の聞き取りに努めるとともに、学生の留学計画策定の過程やインターンシップの中で地元企業との関わりを増やすよう取り組んでいく。

	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成し、(地元で)活躍してもらい循環を考えて、成果を認識できるような形になれば理想。 ・インターンシップをすることで、海外経験が受入企業に生かせるような形だと、企業としてはバックアップできる。 ・インターンシップ協力企業に何らかの称号を授与してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の滞在周期に合わせた効果的なタイミングで行事を企画し、相互交流を促進していく。 ・会員企業等のイメージアップや協議会活動の普及促進のため、認定制度の導入を進める。
理念等	<ul style="list-style-type: none"> ・学生時代の海外経験は重要で、学内外からももっと留学を経験させたいという意見あり。制度は継続させてほしい。 ・県内就職を強く打ち出すのか、より大きな視点で高度に社会を支える人材を育てるのか、整理を。 ・県内就職をしなくても、大きな視点で人が育つ場を与えるということが大事では。 ・人材育成は時間を要するもので、厳しい状況下でも支援したいという企業は少なからずある。成果報告等を活用し、事業の意義を普及して欲しい。 ・人材育成は継続的に行うべきとの意見で、次年度も支援(寄附)を予定。会員企業の認定制度を含め、企業の理解を得られるよう取組を続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会をとらえ、本協議会の趣旨説明をし、事業の意義の普及を図っていく。 ・会員企業等のイメージアップや協議会活動の普及促進のため、認定制度の導入を進める。
啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の就活ワークショップでは、先駆的な取組をしている県外企業を講師に招き、とても勉強になった。留学生の定着支援に向け、引き続き実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・類似の取組を継続していく。
運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の理念に反対する人はいないので、国交付金終了で事業が途絶えないよう、存続するため金銭面の問題も含めて検討をしてほしい。 ・各大学でつながりのある企業へ協賛依頼をしていくこともあり得るのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況も踏まえ、支援制度の見直しを図りながら継続に努めていく。 ・様々な機会をとらえ、本協議会の趣旨説明をし、市町村を含めた会員の拡大を図っていく。